

ノムラの教え

弱者の戦略99の名言

『他人の痛みを知らなさい』

他人に対してどう考えられるかということも、一流と二流を分ける要素のひとつである。他人の痛みを自分の痛みとして捉えられる、他人に対する配慮ができる。他人のために自分を犠牲にできる。こうしたことができる選手は、いち早く頭角を現すし、伸びる確率も高い。身近な例をあげれば、コーヒーを飲んでいるところに私がやってきたとき、「監督、コーヒーを淹れましょうか」と声をかけてくるのは、やはりそれなりに実績をあげ、評価を受けている人間。そうでない人間は、自分だけ飲んでいて平気である。

要は、相手の立場に立って考えられるかどうかなのである。それができる人間は、周囲に良い心証を与えるのもちろんだが、たとえば試合においても、「この場面では相手は何をしてくるか」「ここでは何を考えているか」と読むことができるのだ。

文・野村克也 *text by Katsuya Nomura*

Profile

1935年 京都府生まれ。
54年 京都府立峰山高校卒業。南海ホークス(現・福岡ソフトバンク)ヘテスト生で入団。
4年目に本塁打王。65年 戦後初の三冠王(史上2人目)など、MVP5度、首位打者1度、本塁打王9度、打点王7度。ベストナイン19回、ゴールデングラブ賞1回。
70年 監督(捕手兼任)に就任。73年 パリーグ優勝。のちにロッテオリオンズ、西武ライオンズでプレー。
80年に45歳で現役引退。通算成績2901安打、657本塁打、1988打点、打率.277。
89年 野球殿堂入り。
90年 ヤクルトスワローズ監督に就任、4度優勝(日本一3度)。99年から3年間、阪神タイガース監督。
2002年から社会人野球・シダックスのゼネラル・マネージャー兼監督。
03年 都市対抗野球大会で準優勝。06年度 東北楽天ゴールデンイーグルス監督就任。
09年度 退任。24年間の監督生活で1565勝1563敗。「生涯一捕手」が座右の銘。



発売中